

(別紙4(2))

事業所名: グループホームからこ

## 目標達成計画

作成日: 令和4年8月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	法人全体としての身体拘束防止マニュアルを整備しているが、ホーム独自のマニュアルを整備し、職員間で確認・共有できるよう取り組むことに期待する。	職員間で商法共有しながら身体拘束がゼロになるように取り組む。	ホーム独自のマニュアルを整備し、職員間で確認・共有できるようにし、身体拘束事案がゼロになるような工夫をする。	3ヶ月
2	35	隣接する母体医療機関との連携が図れている。今後、ホームの状況に応じて迅速な避難誘導や有事の際に落ち着いて行動ができるようホーム独自の災害マニュアルを整備し取り組むことに期待する。	ホームの状況に応じて迅速な避難誘導や有事の際に落ち着いて行動ができるようにする。	ホーム独自の災害マニュアルを整備し、災害時に落ち着いて行動できるように定期的な研修やマニュアルの見直しを行う。	6ヶ月
3	36	夜間帯にのみ使用するポータブルトイレが居室入り口に設置されていた。入居者の尊厳保持の観点から、本人の使い勝手を考慮した上で、昼間には目隠しするなど配慮することが望まれる。	入居者の尊厳を考えたケアが出来るように取り組む。	昼間においては、目隠しなどをする。在室していないときには、部屋の隅にポータブルトイレを置く。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。